

図書だより



令和7年 2月3日
文京区立林町小学校
図書館支援員 高橋淳子

暦の上では、冬が終わって春が始まるの日のことを立春といいますが、今年の立春は2月3日です。節分はその前日の2日になります。立春とはいっても、まだまだ寒い日が続いています。「殊で元気に遊ぶ」と「暖かい部屋でのんびり読書」をバランスよく楽しむといいですね。

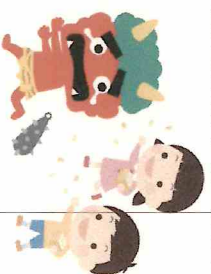
節分

節分の日には「鬼は外、福は内。」といいたから炒り大豆をまきますね。昔は、災害や病気などの悪いことは鬼のせいだと考えて、鬼を遠治する効果がある豆をまいていたことが由来とされています。

では、そんな大豆に関するクイズを出します。

【第1問】大豆の花は何色でしょう？

- ①黄色 ②ピンク ③青



【第2問】大豆はタンパク質が豊富なことから「畑の○○」と呼ばれています。「○○」は何が入っています？

参考:『和の行事えほん 秋と冬の書』高野紀子:作/あすなろ書房
『そでてあそぼう ガイズの絵本』こくぶんまきえ:編/麗文閣

みんなでおにぎりをしよう！

『スクールおにごっこ』(全3巻)
鬼ごっこ協会:著/いかだ社78頁
おに、高おに、こおりに…。鬼ごっこにはいろいろな種類があります。この本では、鬼ごっここの歴史、みんなで遊べる鬼ごっこの紹介、鬼ごっこで体方アップのコツなど、鬼ごっこの豆知識やいろいろな楽しみ方が紹介されています。



楽しい季節に鬼ごっこで元気に遊びませんか。

【クイズの答え】

【第1問】②ピンク、【第2問】畑の肉

今日の言葉

鬼の居ぬ間に洗濯
意味:うるさい人や怖い人がいない間にのんびりと洗濯らしをする。こじこじ、といふこと。「洗濯」とは「命の洗濯」で、洗濯らしをする。こじこじ、といふこと。

図書支援員がすすめる本

『すみ鬼にげた』岩城範枝:作/福音館書店 913頁

江戸時代。大工見習少年のヤスは、唐招提寺の屋根を支える「すみ鬼」という木彫りの鬼の鳴き声を聞きます。すみ鬼は、中国から日本に渡る船にこっそり乗りこんだのですが、僧に見つかって「すみ鬼」にさせられてしまったのです。

すみ鬼の「日本の鬼とカビバをしい」という願いを聞いたヤスは、すみ鬼を自由に一緒に吉野の山奥に向かいます。夜の山では、普段人間の前には出てこない鬼や妖怪たちが踊りまわっています。

そして、ヤスの目の前ですみ鬼と、日本の鬼とのカビバが始まります。(中・高学年向け)



新しい本

一部を紹介いたします。他にもいろいろな本が入りましたので、図書室へ見に来てくださいね。

絵本のどうぶつたち

『海にしずんだクジラ』

メリッサ・ヌチユート

BL出版48す

命を終えて海底に沈んだクジラの体が、多くの深海生物の命の元になる様子を書いた科学絵本です。



『ねみちゃんとねずみくん』なかえ よしを：作／ポプラ社

げんきな「ねずみくん」と、なかよしの「ねみ

ちゃん」のたのしいおはなしです。

『トトにおどけ』

笑塚 健太：作／バイインターナショナル



トトくんにキーのおどけをおねがいされたカモ

メくんは、はりきってとんでいきます。ところが、おうちからで

てきたのは、アザラシ、セイウチ、アシカ…。トトはどこ？

ロボット、生成AI

『生成AIでなにができる?』

山田 廣二：監修／文溪堂0世

山田 廣二：監修／文溪堂0世
便利な生成AIを正しく安全に使うために、長所や短所を学びましょう。



『ここがすごい!ロボット図鑑(全2巻)』

岡田 博亮：監修／あかね書房54こ

人間の暮らしに役立つロボット、物を作るお仕事ロボットなど、身近なロボットの紹介をしています。



名作を読もう



『蜘蛛の糸』芥川龍之介：著

ポプラ社913あ

日本の文豪、芥川龍之介の短編小説や随想、俳句、短歌、詩などが入っています。



『デュビュエトカー・アラン・ポー：著／ポプラ：作93ほ』

物語にはたくさんのお探偵がいますが、「世界初のお探偵」はこちらの主人公のオーギュスト・デュパンといわれています。

『おちやめなふたご』イーニツク・フライツ：著／ポプラ社93ふ
寄宿舎に入ったふたごの姉妹、パットとイザベルのお話です。



授業の役に立つかも!?



『鉄道で学ぶ小学生の社会科学』町や暮らしのおもしろいつながり』今道 琢也：著

メイユニバーサルコンテンツ 30い

日本の地形や気候、文化、歴史などについて、鉄道路線図や駅のことから学ぶことができます。



『トリプル★ゼロの算数事件簿 ファイル1』

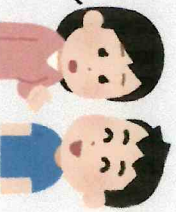
向井 潮香：作／ポプラ：作913む

算数が大好きな小学5年生の有明雄天は、運動の得意な恭平、マジシャン少女の伶と一緒に、学校の困ったことを算数で解決するチームを組むことになりました。身の回りにある算数の面白さがわかる本です。

『10歳から知っておきたい魔法の伝え方』発表がうまくなる!好きになる!』鈴木 深雪：著

日本能率協会マネジメントセンター80す

アイデアや思いを伝えられるようになるプレゼンテーションの方法が、マンガやイラスト入りでわかりやすく解説されています。



『科学のおんどく』篠原 菊紀：監修／リベラル社40か

生き物、恐竜、宇宙…。声に出して読むと楽しくなるような、科学の短いお話が載っています。



